

日本遺産 海女に出逢えるまち おすすめスポット

海女の詳細について知りたい方は  
鳥羽市立 海の博物館

「日本遺産」海女の歴史や道具、祭りや風習だけでなくこの地域の漁村文化について総合的に学ぶことのできる博物館。体験メニューも充実しています。

住所：〒517-0025 三重県鳥羽市浦村町大吉 1731-68  
開館時間：午前9時～午後4時30分  
休館日：6月26日～30日、12月26日～12月30日  
☎ (0599) 32-6006 URL：http://www.umihaku.com



建物も特徴的な海の博物館

海女と語らいながら海の幸を食べたい方は

海女小屋体験【※事前予約制】

海女の休憩する「海女小屋」を模した施設で、海女が焼いた海の幸を食べることが出来ます。海女さんから漁のことも聞くことができます。

この地域の海女小屋体験施設  
-海女小屋「はちまんかまど」【鳥羽市】☎0599-33-1023  
-海女小屋「相差かまど」【鳥羽市】☎0599-33-7453  
-答志島「海女小屋体験（バーベキュー）」【鳥羽市答志】☎0599-37-3339  
-海女小屋体験施設「さとうみ庵」【志摩市】☎0599-85-1212  
-大場 広の浜 【志摩市】☎0599-77-7327  
※事前に予約が必要です。各施設にお申し込みください。



海女小屋体験施設（写真はさとうみ庵）

海女ゆかりの地を巡りたい方は

海女ゆかりの地はたくさんあります。海女が安全祈願に訪れる聖地としては、海士潜女神社・青峯山正福寺（鳥羽市）、伊雑宮（志摩市）、女性の願いを叶えてくれる石神さん（鳥羽市）などのスポットがあります。

-海士潜女神社【鳥羽市】☉鳥羽駅からバスで国崎下車 徒歩約5分  
-石神さん【鳥羽市】☉鳥羽駅からバスで相差下車 徒歩約2分  
-青峯山正福寺【鳥羽市】☉近鉄松尾駅から徒歩1時間  
-伊雑宮【志摩市】☉近鉄「上之郷駅」下車、徒歩約5分



海上安全祈願の聖地 青峯山正福寺

海女漁をみてみたい方は

7月上旬の鳥羽市菅島で行われる「しろんご」祭は、本物の海女漁を間近で見ることのできる貴重な機会です。また、もっと深く海女漁を知りたい、体験したい方には、海女と一緒に潜ったり、海女漁の様子を船上から見学することのできるツアーもあります。また、観光海女のショーは、鳥羽市のミキモト真珠島でもみることが出来ます。

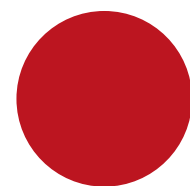
-しろんご祭り【鳥羽市菅島】毎年、7月11日の直近の土曜日に開催。  
【問】☎0599-25-1157（鳥羽市観光課）  
-ミキモト真珠島【鳥羽市】  
昔ながらの白い磯着を着た海女の実演を行っています。  
入場料金 大人1,650円、小人（小中学生）820円  
※海女の実演は天候・季節によって変更する場合があります。  
-海女と潜るツアー【志摩市】（春～秋期）  
海女さんの素潜り漁を、一緒に潜ってすぐ間近で見られます。  
有料22,000円（税込）～（要予約）  
【問】☎0596-20-2290 伊勢志摩ツーリズム



菅島のしろんご祭



海女と潜るツアーの様子

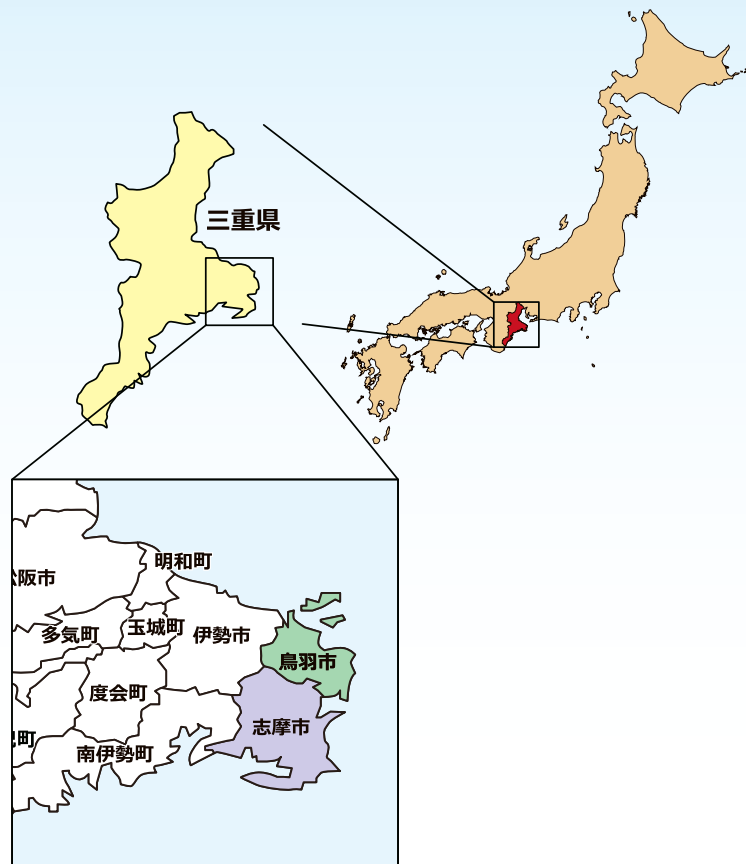


JAPAN HERITAGE

日本遺産

日本遺産とは

日本遺産（Japan Heritage）は、地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーとして文化庁が認定するものです。「海女に出逢えるまち鳥羽・志摩」は73件目の認定を受けました。



交通アクセス

鳥羽市

●鉄道でお越しの方

名古屋駅	JR・近鉄	1時間35分	鳥羽
大阪難波駅	近鉄	約2時間	
京都駅	近鉄	約2時間20分	

●車でお越しの方

東京	東名高速	豊田JCT	伊勢湾岸	伊勢	伊勢IC	鳥羽
大阪	西名阪	伊勢関IC	新名神	伊勢	伊勢IC	
京都	名神高速	草津JCT	新名神	亀山JCT	伊勢IC	

●船でお越しの方

伊良湖	フェリー	鳥羽
-----	------	----

志摩市

●鉄道でお越しの方

名古屋駅	近鉄	約2時間5分	賢島
大阪難波駅	近鉄	約2時間25分	
京都駅	近鉄	約2時間45分	

●車でお越しの方

東京	東名高速	豊田JCT	伊勢湾岸	伊勢	伊勢西IC	第二伊勢	白木IC	R167	志摩
大阪	西名阪	伊勢関IC	伊勢	伊勢西IC	第二伊勢	白木IC	R167	約20分	
京都	名神高速	草津JCT	新名神	伊勢目	伊勢西IC	白木IC	R167	約20分	

●船でお越しの方

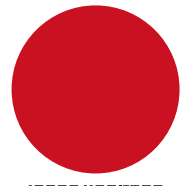
伊良湖	フェリー	鳥羽	R167	志摩
			約20分	



地域文化財総合活用推進事業  
発行 海女振興協議会



日本遺産海女についての情報はこちら  
日本遺産 公式サイト <https://japan-heritage.bunka.go.jp/ja/stories/story073/index.html>



JAPAN HERITAGE

日本遺産

日本遺産 海女(Ama)に出逢えるまち  
鳥羽・志摩



日本一海女の多いまち  
鳥羽・志摩

日本遺産

海女(Ama)に出逢えるまち 鳥羽・志摩～素潜り漁に生きる女性たち

日本遺産に認定されたストーリーを簡単にご紹介します。

海女に出逢えるまち 鳥羽・志摩

豊かな海産物に恵まれた鳥羽・志摩は、全国の約半数の海女が活躍する日本一の「海女に出逢えるまち」です。女性が素潜りでアワビ、サザエや海藻を獲る海女漁は、世界でも日本と韓国のみ希少な漁法です。「海女」という、素潜り漁に生きる彼女たちに出逢えるまち、鳥羽・志摩を訪ねてみましょう。



鳥羽志摩で行われている海女漁

神々が愛したアワビ～伝説の海女「おべん」

鳥羽市国崎で海女が獲ったアワビは毎年、「熨斗鮫」という干物に加工され伊勢神宮に奉納され続けています。熨斗鮫の奉納の由来は、伊勢神宮に天照大神を祀った倭姫命が、神様の食べ物を求めて国崎を訪れたところ、「おべん」という海女からアワビをもらい、大変美味であったことから、この地をアワビ奉納の地と定めたとされています。



熨斗鮫づくり

海女に受け継がれる信仰とまつり

鳥羽・志摩には、海女をはじめとして海と共に生活する海の民の信仰を集める神社や仏閣などが数多くあり、これらの聖地を訪ねることで海女文化の一端に触れることができます。代表的なものには鳥羽市の青峯山正福寺や伊勢神宮の別宮である志摩市の伊雑宮があります。また、豊漁や海上安全を祈る海女の祭りが各地で受け継がれているのです。



信仰を集めるスポットの一つ、伊雑宮

「五感」で感じる海女

鳥羽・志摩地域の沿岸部や離島の漁村を訪ねると、海女が体験する「海女小屋」が立ち並ぶ風景や、漁に向かう姿、港で出荷する姿など、様々な海女の姿を目にします。海女小屋や路地から聞こえる海女たちの大きな声も胸を高鳴らせてくれます。海女小屋体験施設では、海女と話をしながら、海女が獲ったアワビなどの海産物などを堪能できます。また、海女とともに潜る、海女漁体験では五感全体で海女の世界を感じることも可能です。



海女小屋体験での海女との触れ合い

この地域をめぐるば、古くから自然を敬い、海とともに生活してきた海女の生活と信仰が「海女文化」として、今も息づいていることが体感でき、元気な海女たちからパワーをもらえるに違いありません。



JAPAN HERITAGE

日本遺産



### 鳥羽市の構成文化財

- 1 鳥羽・志摩の海女漁の技術(※)
- 2 白浜遺跡出土遺物
- 3 国崎の掬斗鮫づくり
- 4 伊勢湾・志摩半島・熊野灘の漁撈用具

- 5 しろんご祭
- 6 国崎のノット正月
- 7 青峯山正福寺
- 8 海士潜女神社

- 9 潜き下り
- 10 石神さん
- 11 神島八代神社
- 12 監的哨

- 13 ニワの浜
- 14 答志島の細い路地裏

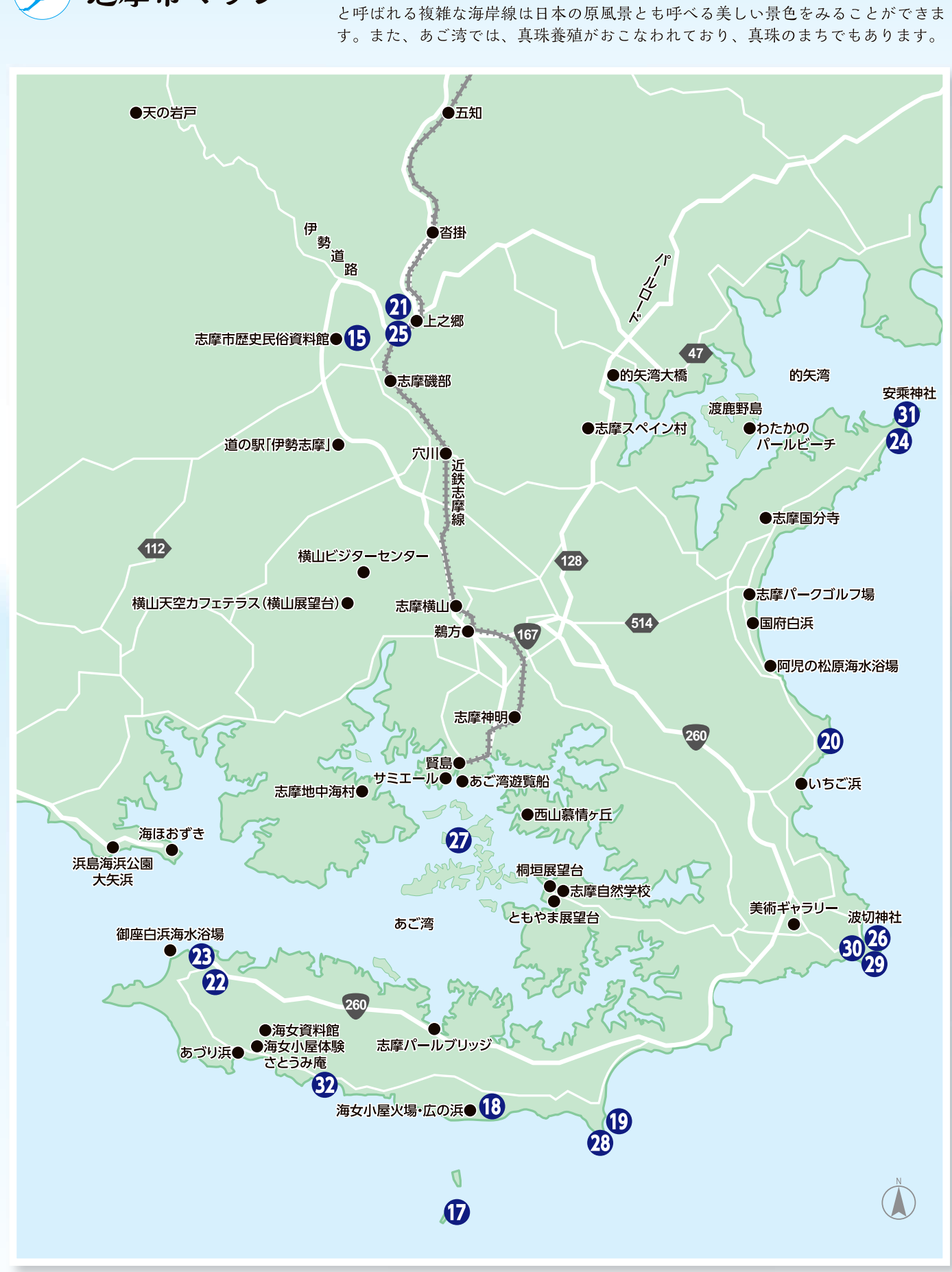
海女の住む離島の一つ。迷路のような路地の集落

### 鳥羽市マップ



鳥羽市は、三重県東部の志摩半島にあり、4つの有人離島を含む島々や、リアス海岸がありなす景観とともに温暖な気候に恵まれています。市内には豊かな海産物のほか、ミキモト真珠島や鳥羽水族館などの観光施設があり、日本で最も海女が多いまちとして知られています。

### 志摩市マップ



志摩市は、三重県の東南部に位置し、市全域が伊勢志摩国立公園に含まれています。あご湾に浮かぶ大小およそ60の島々、岬や入り江などが織り成すリアス海岸と呼ばれる複雑な海岸線は日本の原風景とも呼べる美しい景色をみることが出来ます。また、あご湾では、真珠養殖がおこなわれており、真珠のまちでもあります。

### 志摩市の構成文化財

- 15 志摩半島の生産用具及び関連資料
- 16 伊勢神宮へのアワビ奉納
- 17 潮かけ祭り(大島祭り)
- 18 小島祭り・浜祭り
- 19 志清め
- 20 石経おらし
- 21 伊雑宮
- 22 爪切不動尊
- 23 石仏(潮仏)
- 24 安乗の人形芝居
- 25 磯部の御神田
- 26 波切のわらじ曳き
- 27 リアス海岸と真珠養殖の筏の景観
- 28 麦埼灯台
- 29 大王埼灯台
- 30 波切の町並み
- 31 安乗埼灯台
- 32 旧越賀村郷蔵文書
- 33 ドーマン・セーマン(※)

※15は鳥羽市志摩市共通の構成文化財です

